日本通運の国際航空輸送

フレッシュ・コンテナ



フレッシュ・コンテナとは

鮮度保持を実現する、生鮮・食料品専用保冷コンテナ輸送サービス

これまで梱包のみで保冷を維持していた空港間輸送に専用保冷コンテナを使用。 当社フレッシュ・コンテナによる輸送をご利用いただくことでより質の高いコールドチェーンが 実現可能です。(+5℃、-10℃、-20℃の3温度帯がお選びいただけます)



従来の輸送 空輸中のコールドチェーンを保つために保冷梱包が必要。 お客様 保冷車で輸送 保冷倉庫 空輸 保冷倉庫 保冷車で輸送 荷受人 空港 空港 従来の輸送のデメリット 作業負荷 コスト 品質維持難 今までは保冷車で運ばれて 発泡スチロール箱に詰め替え 氷、保冷剤を入れる必要がありました。 来た商品を

フレッシュ・コンテナ

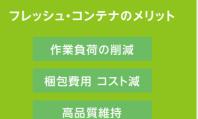
専用保冷コンテナを利用。途切れないコールドチェーンを実現。

紫

お客様 保冷車で輸送 保冷倉庫 空輸 保冷倉庫 保冷車で輸送 荷受人



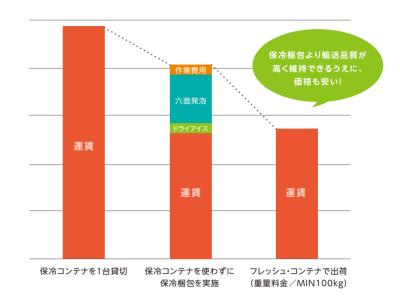
フレッシュコンテナでは フレッシュ・コンテナ自体に 保冷車で運ばれて来た商品を 保冷機能があるので、 そのまま荷物をコンテナに 積みかえるだけでOK。



コストメリット比較

右記は従来の輸送方法とフレッシュ・ コンテナのコスト比較のグラフになり ます。

フレッシュ・コンテナは少量からご利用いただけるので低コストにて高品質な輸送の実現が可能です。



フレッシュ・コンテナご利用事例

羽田/成田から台北、香港、バンコク、ホーチミン、クアラルンプール、シンガポール、ジャカルタに向けてサービスを展開中です。

